

学生の確保の見通し等を記載した書類

資 料 目 次

【資料 1】 私立大学院看護学研究科の入学志願動向

【資料 2】 近隣の私立看護系大学院の入学定員充足状況

【資料 3】 最終修得学位名称別の教員数

出典：「看護系大学に関する実態調査 2017 年度状況調査」

【資料 4】 湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科（仮称）の設置に係るニーズアセスメント調査ご報告書

【資料 5】 近隣の私立看護系大学院の学費

【資料 6】 卒業生、修了生の就職・進学状況

出典：「看護系大学に関する実態調査 2017 年度状況調査」

【資料 7】 採用意向アンケート調査 問 2 とのクロス集計（湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科（仮称）の設置に係るニーズアセスメント調査ご報告書 調査②補足資料）

【資料1】 私立大学院看護学研究科の入学志願動向

区分	年度	集計 研究科数	入学定員 A	志願者 B	入学者 C	志願倍率 B/A	入学定員 充足率 C/A
看護学研究科 (修士課程及び 博士前期課程)	平成28年度	46	517	471	385	0.91	74.47%
	平成29年度	50	537	551	420	1.03	78.21%
	平成30年度	57	606	592	466	0.98	76.90%
	令和元年度	60	629	529	419	0.84	66.61%
	令和2年度	64	656	600	426	0.91	64.94%

1研究科あ たりの入学 定員	1研究科当 たりの入学 者
11.2	8.4
10.7	8.4
10.6	8.2
10.5	7.0
10.3	6.7

区分	年度	集計 研究科数	入学定員 A	志願者 B	入学者 C	志願倍率 B/A	入学定員 充足率 C/A
看護学研究科 (博士課程及び 博士後期課程)	平成28年度	20	92	111	86	1.21	93.48%
	平成29年度	22	98	134	104	1.37	106.12%
	平成30年度	25	109	136	109	1.25	100.00%
	令和元年度	27	115	144	110	1.25	95.65%
	令和2年度	31	127	144	100	1.13	78.74%

1研究科あ たりの入学 定員	1研究科当 たりの入学 者
4.6	4.3
4.5	4.7
4.4	4.4
4.3	4.1
4.1	3.2

出典：日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等入学志願動向」（平成28～令和2年度）

【資料2】近隣の私立看護系大学院の入学定員充足状況

【博士前期課程】

大学院	研究科 専攻	課程	入学定員			入学者数			入学定員充足率			備考
			平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	
北里大学大学院	看護学研究科看護学 専攻	博士 前期	15	15	15	9	10	4	60%	67%	27%	
東海大学大学院	健康科学研究科看護 学専攻	博士 前期	10	10	10	非	非	10	—	—	100%	
慶應義塾大学大 学院	健康マネジメント研 究科看護学専攻	博士 前期	40	40	40	41	41	43	103%	103%	108%	研究科全体。看護 学専攻の入学定員 は10人。
関東学院大学大 学院	看護学研究科看護学 専攻	博士 前期	8	8	8	4	7	3	50%	88%	38%	
横浜創英大学大 学院	看護学研究科看護学 専攻	博士 前期	6	6	6	非	非	5	—	—	83%	
昭和大学大学院	保健医療学研究科保 健医療学専攻	博士 前期	10	10	10	19	21	16	190%	210%	160%	
湘南医療大学大 学院	保健医療学研究科保 健医療学専攻	博士 前期	—	12	12	—	非	8	—	—	67%	令和元年度開設。

【博士後期課程】

大学院	研究科 専攻	課程	入学定員			入学者数			入学定員充足率			備考
			平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	平成30 年度	令和元 年度	令和2年 度	
北里大学大学院	看護学研究科看護学 専攻	博士 後期	4	4	4	3	0	2	75%	0%	50%	
慶應義塾大学大 学院	健康マネジメント研 究科看護学専攻	博士 後期	10	10	10	8	8	10	80%	80%	100%	研究科全体。看護 学専攻の入学定員 は5人。
昭和大学大学院	保健医療学研究科保 健医療学専攻	博士 後期	4	4	4	8	6	6	200%	150%	150%	

出典：各大学院のホームページより

表1-6.最終修得学位名称別の教員数

(人)

学位名称	国立大学 (回答課程数=43)					公立大学 (回答課程数=47)				
	学士	修士	博士	学位なし	合計	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	39	331	204		574	130	673	323		1,126
保健学	1	97	185		283	0	100	115		215
医学	0	7	152		159	0	9	77		86
教育学	2	16	6		24	2	46	16		64
学術	0	6	20		26	1	21	15		37
その他	3	54	52		109	15	122	76		213
合計	45	511	619	13	1,188	148	971	622	30	1,771

学位名称	私立大学 (回答課程数=168)					全体 (回答課程数=258)				
	学士	修士	博士	学位なし	合計	学士	修士	博士	学位なし	合計
看護学	270	1,902	630		2,802	439	2,906	1,157		4,502
保健学	3	274	244		521	4	471	544		1,019
医学	0	25	262		287	0	41	491		532
教育学	19	172	28		219	23	234	50		307
学術	3	130	72		205	4	157	107		268
その他	109	731	248		1,088	127	907	376		1,410
合計	404	3,234	1,484	159	5,281	597	4,716	2,725	202	8,240

※注釈欄 調査票に入力された実数を示しているため、合計数が表1-4、表1-5と一致していない箇所あり。

教員の最終修得学位は、博士が2,725名(33.1%)、修士が4,716名(57.2%)、学士597名(7.2%)、学位なし202名(2.5%)で昨年度とほぼ同じであった。設置主体別で見ると、国立大学では博士が52.1%、修士が43.0%と、修士以上の学位修得者が全体の95%以上を占めた。また、公立大学では、博士が35.1%、修士が54.8%、私立大学では、博士が28.1%、修士が61.2%であった。学位の名称別で見ると、看護学が最も多く、それぞれに占める割合は、学士(73.5%)、修士(61.6%)、博士(42.5%)であった。博士の学位は、看護学(42.5%)に次いで保健学(20.0%)、医学(18.0%)の順であり、2015年から同様の結果であった。いずれの学位も持たない教員は、国立大学で1.1%、公立大学で1.7%、私立大学で3.0%であり、私立大学で多い傾向に変わりは無かった。

2.看護系大学院について

表2-1.大学院の有無

	n=回答課程数	ある	ない
国立大学	44	43 (97.7%)	1 (2.3%)
公立大学	48	45 (93.8%)	3 (6.3%)
私立大学	166	76 (45.8%)	90 (54.2%)
全体	258	164 (63.6%)	94 (36.4%)

表2-2.修士課程・博士前期課程

	n=回答課程数	完成年次を迎えている	完成年次を迎えていない
国立大学	43	42 (97.7%)	1 (2.3%)
公立大学	45	45 (100.0%)	0 (0.0%)
私立大学	75	71 (94.7%)	4 (5.3%)
全体	163	158 (96.9%)	5 (3.1%)

※注釈欄 調査票に入力された実数を示しているため、合計数が上記の表2-1と一致していない箇所あり。

湘南鎌倉医療大学
大学院看護学研究科（仮称）の設置に係る
ニーズアセスメント調査
ご報告書

令和3年2月5日

株式会社高等教育総合研究所

目次

第1章 調査① 入学意向アンケート調査	3
1-1 調査の概要	4
1-2 全質問項目の集計結果	5
1-3 集計結果のポイント	11
第2章 調査② 採用意向アンケート調査	21
2-1 調査の概要	22
2-2 全質問項目の集計結果	23
2-3 集計結果のポイント	32
まとめ	39
調査結果からみた学生確保の見直しおよび人材需要の見直し	40
添付資料（実施したアンケート用紙）	41
資料1 入学意向アンケート調査 アンケート用紙（3ページ）	
資料2 採用意向アンケート調査 アンケート用紙（2ページ）	
資料3 リーフレット（2ページ）	

第1章

調査① 入学意向アンケート調査

1-1 調査の概要

- ◆調査の目的：2022（令和4）年4月に設置計画中の湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科（仮称）について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、学生確保の見通しを測ることを目的とする。

名称	湘南鎌倉医療大学大学院
研究科・専攻	看護学研究科看護学専攻（仮称）
入学定員	博士前期課程 6人 博士後期課程 3人
修業年限	博士前期課程 2年 博士後期課程 3年
開設予定地	神奈川県鎌倉市山崎（大学と同じ）
開設予定	2022（令和4）年4月

- ◆調査期間：2020（令和2）年11月～2021（令和3）年1月

- ◆調査対象：神奈川県内の医療・福祉・保健施設に勤務している看護職および南関東の看護系大学・大学院に勤務している看護教員

機関・施設	機関・施設数	配布件数
病院（神奈川県）	312	1,421
介護保険施設（神奈川県）	576	1,728
訪問看護ステーション（神奈川県）	438	1,314
保健所・保健福祉事務所（神奈川県）	10	30
看護系大学・大学院（南関東）	22	66
計	1,358	4,559

- ◆調査方法：上記の各機関・施設の機関長・施設長に、勤務している看護職・看護教員へのアンケート用紙配布を書面で依頼した。看護職・看護教員が回答したアンケート用紙は郵便で回収した。

- ◆調査内容：無記名、選択肢式16問。主な質問事項は、回答者の基本情報（性別、居住地、学歴、保有資格、勤務歴）、本学への受験意欲・入学意欲など。

- ◆回収件数：654件（回収率14.3%）

1-2 全質問項目の集計結果

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

問1 あなたの性別をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
女性	567	86.7%
男性	66	10.1%
無回答	21	3.2%
計	654	100.0%

問2 あなたが現在、お住まいの都道府県をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
神奈川県 横浜地域	181	27.7%
神奈川県 川崎地域	45	6.9%
神奈川県 横須賀三浦地域	44	6.7%
神奈川県 県央地域	117	17.9%
神奈川県 湘南地域	198	30.3%
神奈川県 県西地域	46	7.0%
東京都	12	1.8%
千葉県	4	0.6%
埼玉県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
その他	5	0.8%
無回答	2	0.3%
計	654	100.0%

問3 あなたの年齢をお答えください。(あてはまるもの1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
20歳代	105	16.1%
30歳代	138	21.1%
40歳代	226	34.6%
50歳代	142	21.7%

60 歳以上	40	6.1%
無回答	3	0.5%
計	654	100.0%

問4 あなたの現在の所属（勤務先・通学先など）についてお答えください。（あてはまるものの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
病院	362	55.4%
介護保険施設	118	18.0%
訪問看護ステーション	135	20.6%
行政（保健所・保健センター）	1	0.2%
看護教員	11	1.7%
看護系大学院生	0	0.0%
看護系大学生（学部生）	0	0.0%
その他	22	3.4%
無回答	5	0.8%
計	654	100.0%

問5 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在、学生の方は取得予定のものをお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目	回答数	回答率
看護師	645	98.6%
保健師	85	13.0%
助産師	29	4.4%
専門看護師	5	0.8%
認定看護師	28	4.3%
診療看護師	1	0.2%
その他	31	4.7%
無回答	1	0.2%
回答者数	654	100.0%

問6 看護職（看護教員を含む）としての累計勤務年数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
------	-----	-----

2年未満	13	2.0%
2～4年	35	5.4%
5～9年	119	18.2%
10～14年	101	15.4%
15～19年	96	14.7%
20年以上	281	43.0%
経験なし	2	0.3%
無回答	7	1.1%
計	654	100.0%

問7 あなたの最終学歴をお答えください。現在、学生の方は予定のものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
専門学校卒	426	65.1%
短期大学卒	52	8.0%
大学卒	122	18.7%
大学院修士課程修了以上	35	5.4%
その他	8	1.2%
無回答	11	1.7%
計	654	100.0%

問8 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

※問7で「専門学校卒」「短期大学卒」「大学卒」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
受験したい	66	11.0%
受験しない	528	88.0%
無回答	6	1.0%
計	600	100.0%

問9 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

※問8で「受験したい」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
------	-----	-----

入学したい	27	40.9%
状況によっては入学を検討する	38	57.6%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%

問 10 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）であなたが希望する領域をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

※問8で「受験したい」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
リプロダクティブヘルス看護学	4	6.1%
小児看護学	2	3.0%
成人看護学	19	28.8%
老年看護学	16	24.2%
在宅看護学	15	22.7%
公衆衛生看護学	9	13.6%
無回答	1	1.5%
計	66	100.0%

問 11 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）に「入学したい」または「状況によっては入学を検討する」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

※問9で「入学したい」「状況によっては入学を検討する」と回答した者のみ。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目	回答数	回答率
高度な専門的知識と技術を身に着けたい	53	81.5%
大学院で研究したい分野がある	5	7.7%
修士の学位を取得したい	31	47.7%
将来、臨床の現場で指導的役割を担いたい	34	52.3%
将来、教育者・研究者になりたい	17	26.2%
その他	1	1.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	65	100.0%

問 12 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

※問 7 で「大学院修士課程修了以上」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
受験したい	13	37.1%
受験しない	20	57.1%
無回答	2	5.7%
計	35	100.0%

問 13 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

※問 12 で「受験したい」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
入学したい	6	46.2%
状況によっては入学を検討する	7	53.8%
無回答	0	0.0%
計	13	100.0%

問 14 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）で、あなたが希望する領域をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

※問 12 で「受験したい」と回答した者のみ。

選択項目	回答数	構成比
リプロダクティブヘルス看護学	1	7.7%
小児看護学	2	15.4%
成人看護学	7	53.8%
老年看護学	0	0.0%
在宅看護学	2	15.4%
公衆衛生看護学	0	0.0%
無回答	1	7.7%
計	13	100.0%

問 15 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）に「入学したい」または「状況によっては入学を検討する」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

※問 13 で「入学したい」「状況によっては入学を検討する」と回答した者のみ。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目	回答数	回答率
------	-----	-----

高度な専門的知識と技術を身に着けたい	8	61.5%
大学院で研究したい分野がある	7	53.8%
博士の学位を取得したい	9	69.2%
将来、臨床の現場で指導的役割を担いたい	3	23.1%
将来、教育者・研究者になりたい	5	38.5%
その他	3	23.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	13	100.0%

問 16 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）または博士後期課程（仮称）を「受験しない」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

※問 8 または問 12 で「受験しない」と回答した者のみ。

※複数回答項目のため、回答数は延べ。回答率は、回答数を回答者数で除した比率。

選択項目	回答数	回答率
もっと実務経験を積んでから大学院に進学したい	22	4.0%
大学院に進学する必要性を感じない	216	39.4%
経済的理由	217	39.6%
勤務との両立が難しい	313	57.1%
家事・育児等との両立が難しい	168	30.7%
通学時間がかかりすぎる	97	17.7%
湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）に魅力を感じない	70	12.8%
その他	65	11.9%
無回答	6	1.1%
回答者数	548	100.0%

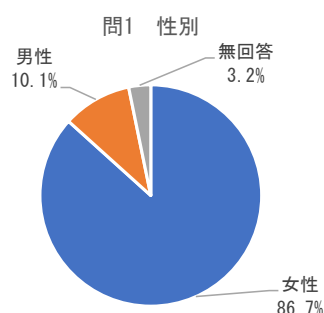
1-3 集計結果のポイント

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

◆ 回答者の86.7%が女性、10.1%が男性

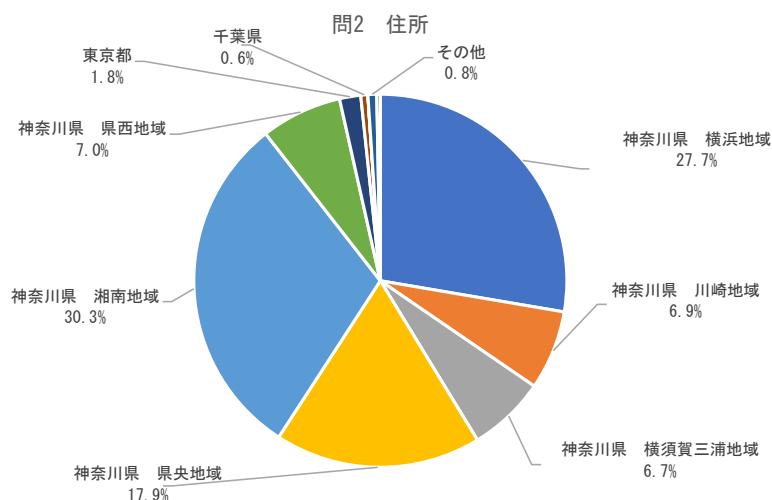
神奈川県内の病院312件、介護保険施設576件、訪問看護ステーション438件、保健所等10件、および南関東地方の看護系大学・大学院22件の計1,358件に勤務する看護職・看護教員にアンケートを依頼したところ、654人から回答を得た。

問1で、性別を質問したところ、「女性」が567人(86.7%)、「男性」が66人(10.1%)だった。



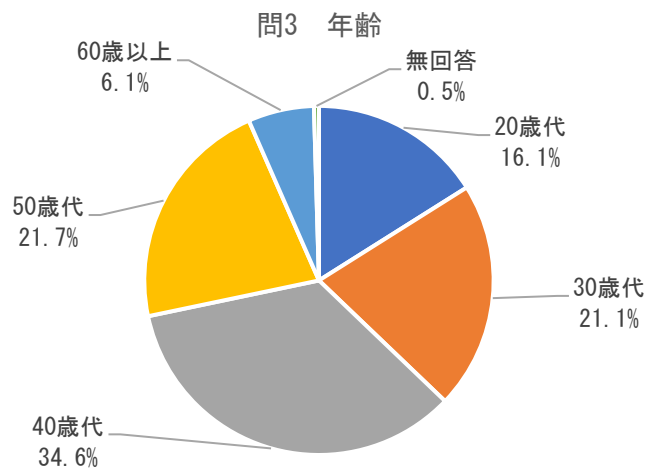
◆ 回答者の96.5%の居住地が神奈川県

問2で、居住地を質問したところ、本学設置予定地の「神奈川県」が631人(96.5%)だった。1番多かったのが「神奈川県 湘南地域」で198人(30.3%)、2番目が「神奈川県 横浜地域」181人(27.7%)、3番目が「神奈川県 県央地域」117人(17.9%)だった。本学が立地する鎌倉市は「神奈川県 横須賀三浦地域」であるが、横浜市と藤沢市に隣接しており、「神奈川県 横浜地域」と「神奈川県 湘南地域」からのアクセスは便利である。



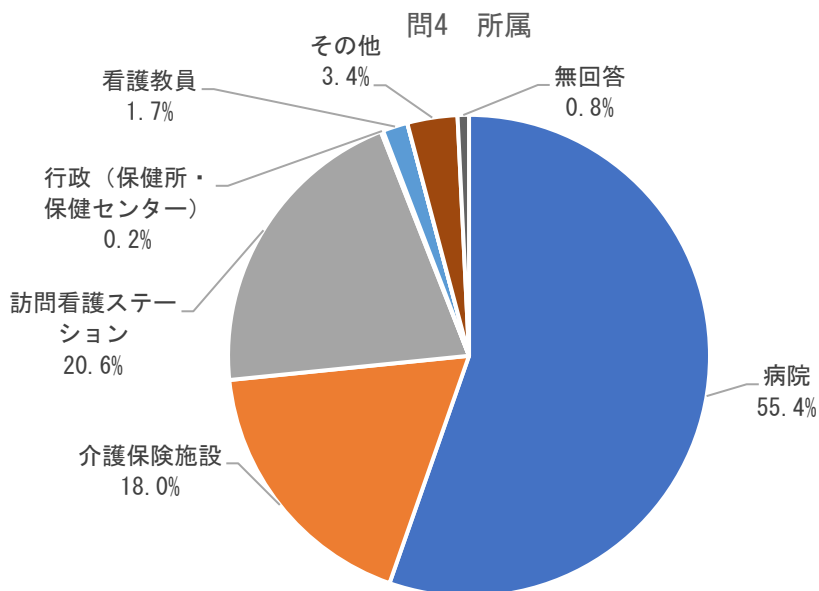
◆ 主に 20 代から 50 代まで満遍なく回答を得た

問 3 で、回答者の年齢を質問したところ、1 番多かったのが「40 歳代」で 226 人 (34.6%)、2 番目が「50 歳代」で 142 人 (21.7%)、3 番目が「30 歳代」で 138 人 (21.1%) だった。



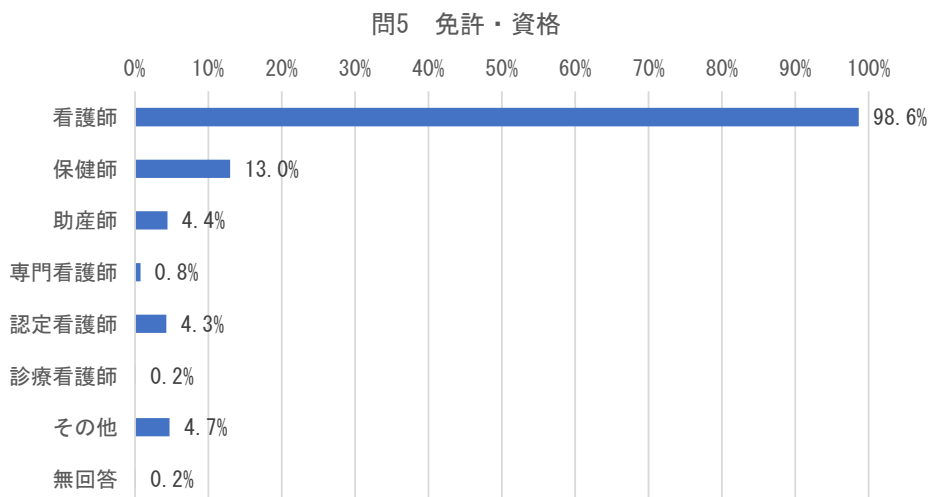
◆ 回答者の 55.4%が病院に勤務

問 4 で、現在の所属（勤務先）について質問したところ、1 番多かったのが「病院」で 362 人 (55.4%)、2 番目が「訪問看護ステーション」で 135 人 (20.6%)、3 番目が「介護保険施設」で 118 人 (18.0%) だった。



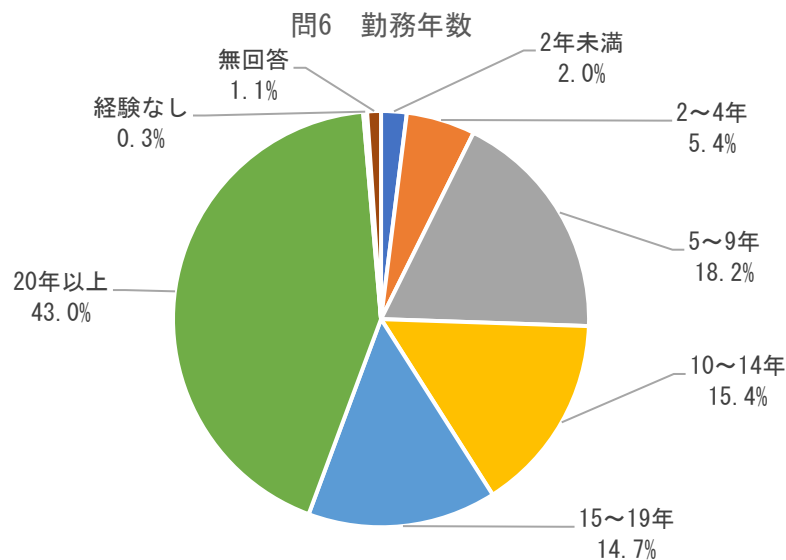
◆ 回答者の 98.6%が看護師免許を保有

問5で、保有している免許・資格について質問したところ、1番多かったのが「看護師」が645人(98.6%)、2番目が「保健師」で85人(13.0%)、3番目が助産師で29人(4.4%)だった。(※複数選択可)



◆ 累計勤務年数 20年以上が 43.0%

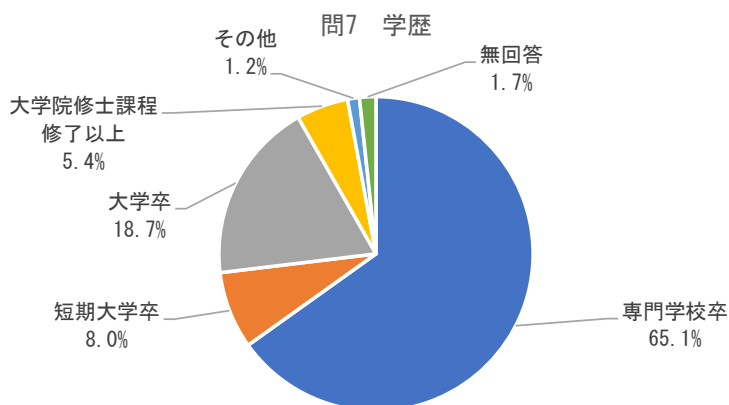
問6で看護職(看護教員を含む)としての累計勤務年数を質問したところ、1番多かったのが「20年以上」で281人(43.0%)、2番目が「5~9年」で119人(18.2%)、3番目が「10~14年」で101人(15.4%)だった。



◆ 大学卒は 18.7%、大学院修士課程修了以上は 5.4%

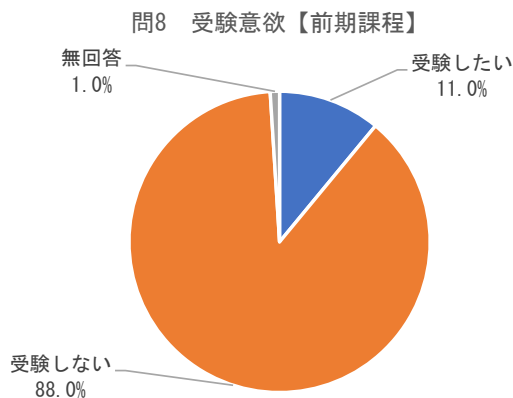
問 7 で最終学歴について質問したところ、1 番多かったのが「専門学校卒」で 426 人 (65.1%)、2 番目が「大学卒」で 122 人 (18.7%)、3 番目が「短期大学卒」で 52 人 (8.0%) だった。

博士後期課程の入学資格となる「大学院修士課程修了以上」は 35 人 (5.4%) だった。



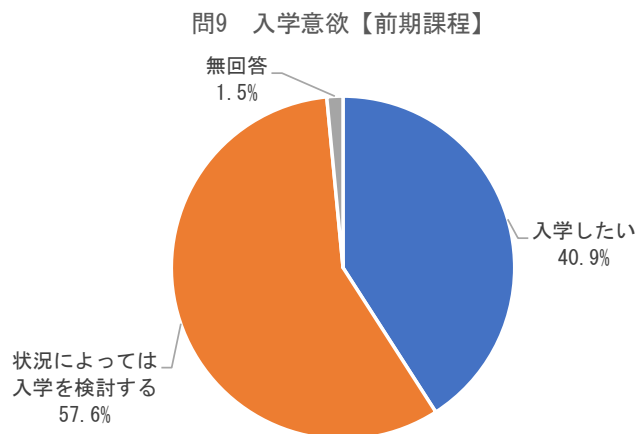
◆ 66 人が博士前期課程を「受験したい」と回答

問 8 に「大学卒」「短期大学卒」「専門学校卒」と回答した 600 人に対して、問 9 で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士前期課程への受験意欲を質問したところ、66 人 (11.0%) が「受験したい」と回答した。



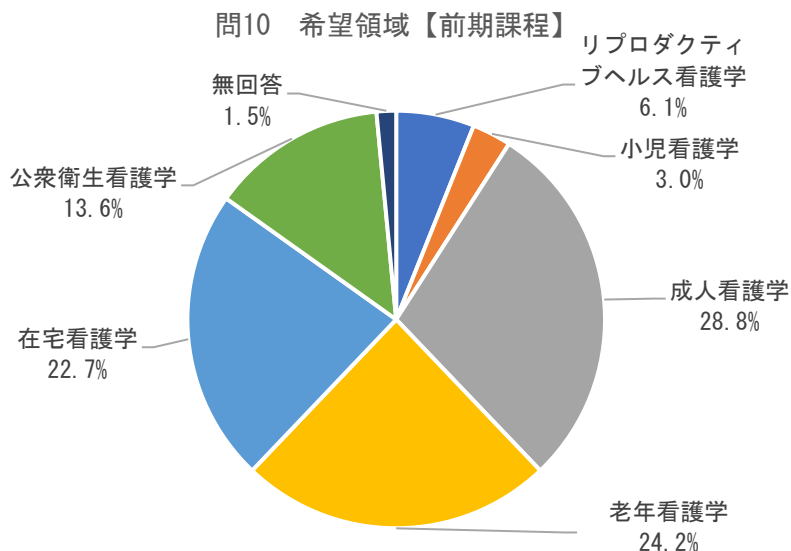
◆ 27人が博士前期課程に「入学したい」と回答

問8に博士前期課程を「受験したい」と回答した66人に対して、問9で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士前期課程への入学意欲を質問したところ、27人（40.9%）が「入学したい」、38人（57.6%）が「状況によっては入学を検討する」と回答した。



◆ 博士前期課程は成人看護学の希望者が28.8%

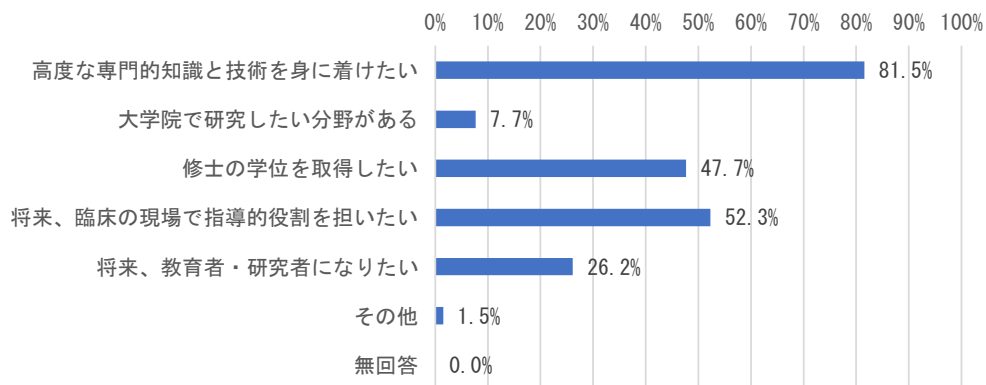
問8で博士前期課程を「受験したい」と回答した66人に対して、問10で希望する領域を質問したところ、1番多かったのが「成人看護学」で19人（28.8%）、2番目が「老年看護学」で16人（24.2%）、3番目が「在宅看護学」で15人（22.7%）だった。



◆ 博士前期課程を希望する理由は「高度な専門的知識と技術」が 81.5%

問 10 で博士前期課程に「入学したい」「状況によっては入学を検討する」と回答した 65 人に対して、問 11 で博士前期課程に入学を希望する理由を質問したところ、1 番多かったのが「高度な専門的知識と技術を身に着けたい」で 53 人（81.5%）、2 番目が「将来、臨床の現場で指導的役割を担いたい」で 34 人（52.3%）、3 番目が「修士の学位を取得したい」で 31 人（47.7%）だった。

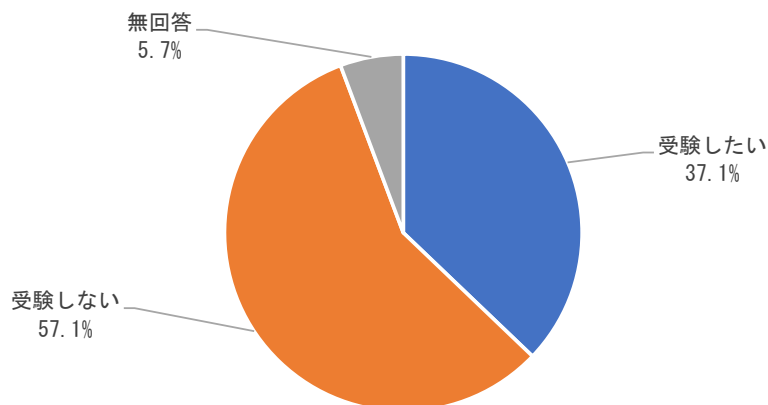
問11 入学を希望する理由【前期課程】



◆ 13 人が博士後期課程を「受験したい」と回答

問 7 に「大学院修士課程修了以上」と回答した 35 人に対して、問 12 で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士後期課程への受験意欲を質問したところ、13 人（37.1%）が「受験したい」と回答した。

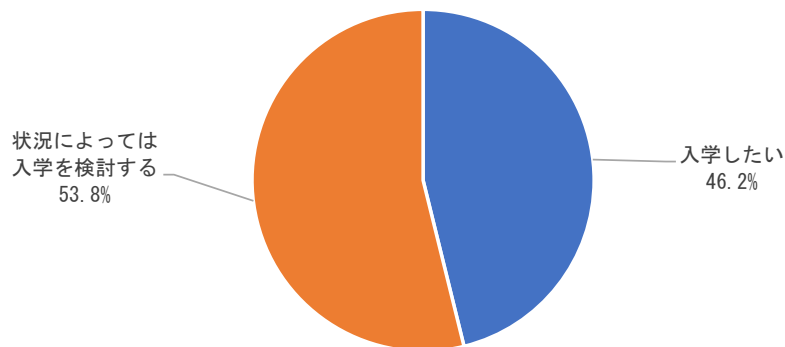
問12 受験意欲【後期課程】



◆ 6人が博士後期課程に「入学したい」と回答

問12に博士後期課程を「受験したい」と回答した13人に対して、問13で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士後期課程への入学意欲を質問したところ、6人（46.2%）が「入学したい」、7人（53.8%）が「状況によっては入学を検討する」と回答した。

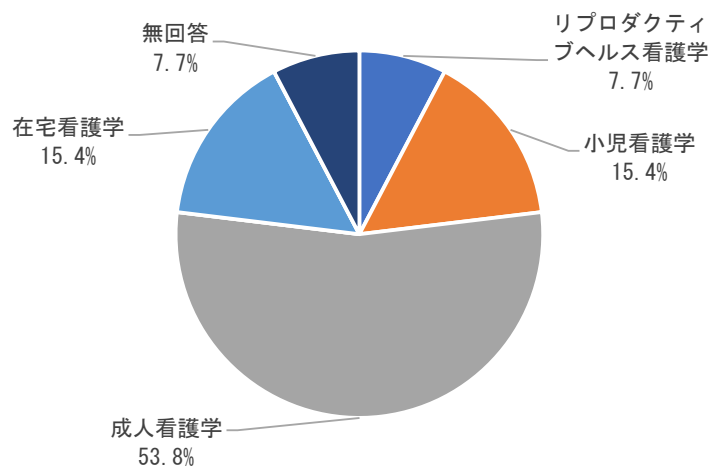
問13 入学意欲【後期課程】



◆ 博士後期課程は成人看護学の希望者が53.8%

問12で博士後期課程を「受験したい」と回答した13人に対して、問14で希望する領域を質問したところ、1番多かったのが「成人看護学」で7人（53.8%）、2番目が「小児看護学」と「在宅看護学」でそれぞれ2人（15.4%）だった。

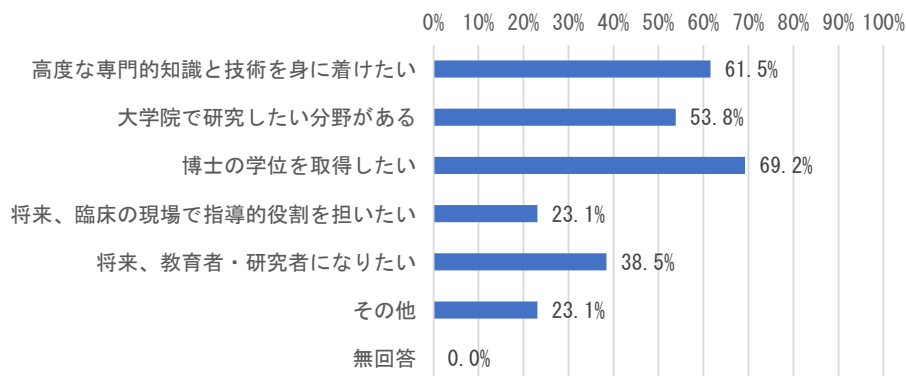
問14 希望領域【後期課程】



◆ 博士後期課程を希望する理由は「博士の学位を取得したい」が 69.2%

問 13 で博士後期課程に「入学したい」「状況によっては入学を検討する」と回答した 13 人に対して、問 15 で博士後期課程に入学を希望する理由を質問したところ、1 番多かったのが「博士の学位を取得したい」で 9 人 (69.2%)、2 番目が「高度な専門的知識と技術を身に着けたい」で 8 人 (61.5%)、3 番目が「大学院で研究したい分野がある」で 7 人 (53.8%) だった。

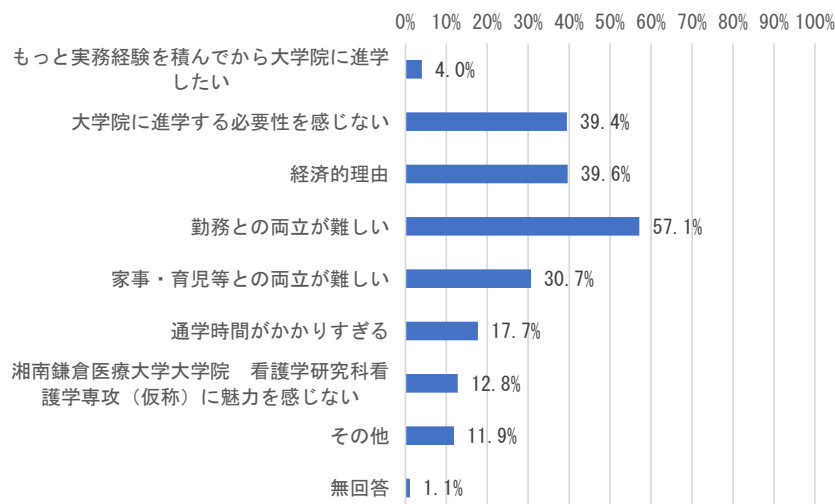
問15 入学を希望する理由【後期課程】



◆ 大学院を受験しない理由は「勤務との両立が難しい」が 57.1%

問 8 または問 12 に「受験しない」と回答した 548 人に対して、問 16 で「受験しない」と回答した理由を質問したところ、1 番多かったのが「勤務との両立が難しい」で 313 人 (57.1%)、2 番目が「経済的理由」で 217 人 (39.6%)、3 番目が「大学院に進学する必要性を感じない」で 216 人 (39.4%) だった。

問16 受験しない理由



◆<クロス集計①>博士前期課程に「入学したい」と回答した者の内訳

問9で博士前期課程に「入学したい」と回答した27人について、問1～7の回答をクロス集計した。(問8は、27人すべてが「受験したい」と回答しているため省略)

問1とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
女性	22	81.5%
男性	4	14.8%
無回答	1	3.7%
計	27	100.0%

問2とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
神奈川県 横浜地域	9	33.3%
神奈川県 川崎地域	1	3.7%
神奈川県 横須賀三浦地域	3	11.1%
神奈川県 県央地域	1	3.7%
神奈川県 湘南地域	12	44.4%
神奈川県 県西地域	0	0.0%
東京都	1	3.7%
千葉県	0	0.0%
埼玉県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

問3とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
20歳代	1	3.7%
30歳代	10	37.0%
40歳代	11	40.7%
50歳代	5	18.5%
60歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

問4とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
病院	20	74.1%
介護保険施設	3	11.1%
訪問看護ステーション	3	11.1%
行政（保健所・保健センター）	0	0.0%
看護教員	1	3.7%
看護系大学院生	0	0.0%
看護系大学生（学部生）	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

問5とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	回答率
看護師	27	100.0%
保健師	2	7.4%
助産師	0	0.0%
専門看護師	0	0.0%
認定看護師	3	11.1%
診療看護師	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
回答者数	27	100.0%

問6とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
2年未満	0	0.0%
2～4年	0	0.0%
5～9年	4	14.8%
10～14年	9	33.3%
15～19年	4	14.8%
20年以上	9	33.3%
経験なし	0	0.0%
無回答	1	3.7%
計	27	100.0%

問7とのクロス集計【前期課程】

選択項目	回答数	構成比
専門学校卒	20	74.1%
短期大学卒	2	7.4%
大学卒	5	18.5%
大学院修士課程修了以上	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%

◆<クロス集計②>博士後期課程に「入学したい」と回答した者の内訳

問13で博士後期課程に「入学したい」と回答した6人について、問1～7の回答をクロス集計した。(問12は、6人すべてが「受験したい」と回答しているため省略)

問1とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
女性	4	66.7%
男性	2	33.3%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

問2とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
神奈川県 横浜地域	0	0.0%
神奈川県 川崎地域	0	0.0%
神奈川県 横須賀三浦地域	1	16.7%
神奈川県 県央地域	0	0.0%
神奈川県 湘南地域	0	0.0%
神奈川県 県西地域	0	0.0%
東京都	1	16.7%
千葉県	2	33.3%
埼玉県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
その他	2	33.3%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

問3とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
20歳代	0	0.0%
30歳代	1	16.7%
40歳代	3	50.0%
50歳代	2	33.3%
60歳以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

問4とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
病院	2	33.3%
介護保険施設	0	0.0%
訪問看護ステーション	0	0.0%
行政（保健所・保健センター）	0	0.0%
看護教員	3	50.0%
看護系大学院生	0	0.0%
看護系大学生（学部生）	0	0.0%
その他	1	16.7%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

問5とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	回答率
看護師	6	100.0%
保健師	2	33.3%
助産師	0	0.0%
専門看護師	1	16.7%
認定看護師	1	16.7%
診療看護師	1	16.7%
その他	1	16.7%
無回答	0	0.0%
回答者数	6	100.0%

問6とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
2年未満	0	0.0%
2～4年	0	0.0%
5～9年	1	16.7%
10～14年	2	33.3%
15～19年	1	16.7%
20年以上	2	33.3%
経験なし	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

問7とのクロス集計【後期課程】

選択項目	回答数	構成比
専門学校卒	0	0.0%
短期大学卒	0	0.0%
大学卒	0	0.0%
大学院修士課程修了以上	6	100.0%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	6	100.0%

第2章

調査② 採用意向アンケート調査

2-1 調査の概要

- ◆調査の目的：2022（令和4）年4月に設置計画中の湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科（仮称）について、大学外の第三者機関によるアンケート調査を用いて、修了者の人材需要の見通しを測ることを目的とする。

名称	湘南鎌倉医療大学大学院
研究科・専攻	看護学研究科看護学専攻（仮称）
入学定員	博士前期課程 6人 博士後期課程 3人
修業年限	博士前期課程 2年 博士後期課程 3年
開設予定地	神奈川県鎌倉市山崎（大学と同じ）
開設予定	2022（令和4）年4月

- ◆調査期間：2020（令和2）年11月～2021（令和3）年1月

- ◆調査対象：修了生の採用が期待できる神奈川県の医療・福祉・保健施設および南関東の看護系大学・大学院の看護部長・採用担当者

機関・施設	機関・施設数	配布件数
病院（神奈川県）	312	312
介護保険施設（神奈川県）	576	576
訪問看護ステーション（神奈川県）	438	438
保健所・保健福祉事務所（神奈川県）	10	10
看護系大学・大学院（南関東）	22	22
計	1,358	1,358

- ◆調査方法：上記の各機関・施設の機関長・施設長に書面で依頼し、看護部長・採用担当者へアンケート用紙を配布した。回答したアンケート用紙は郵便で回収した。

- ◆調査内容：無記名、選択肢式11問、記述式1問。主な質問事項は、回答者の基本情報（所在地、種別、看護職数）、本学大学院修了生の採用意欲、本学大学院へ期待する点、要望など。

- ◆回収件数：260件（回収率19.1%）

2-2 全質問項目の集計結果

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

問1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。(あてはまるものを1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
神奈川県	257	98.8%
東京都	0	0.0%
千葉県	0	0.0%
埼玉県	0	0.0%
静岡県	0	0.0%
その他	1	0.4%
無回答	2	0.8%
計	260	100.0%

問2 貴機関・貴施設の種別をお答えください。(あてはまるものを1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
病院	84	32.3%
介護保険施設	84	32.3%
訪問看護ステーション	79	30.4%
地方公共団体	0	0.0%
大学	4	1.5%
その他	8	3.1%
無回答	1	0.4%
計	260	100.0%

問3 貴機関・貴施設に勤務されている看護職(看護教員含む)の人数をお答えください。(あてはまるものを1つにマーク)

選択項目	回答数	構成比
10人以下	101	38.8%
11人~50人	85	32.7%
51人~100人	27	10.4%
101人~200人	24	9.2%
201人~300人	5	1.9%

301人～400人	6	2.3%
401人～500人	4	1.5%
500人以上	7	2.7%
無回答	1	0.4%
計	260	100.0%

問4 貴機関・貴施設に大学院を修了した看護職（看護教員含む）は勤務していますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
勤務している（修士のみ）	41	15.8%
勤務している（修士および博士）	16	6.2%
勤務している（博士のみ）	0	0.0%
勤務していない	196	75.4%
分からない	5	1.9%
無回答	2	0.8%
計	260	100.0%

問5 貴機関・貴施設では、勤務している看護職（看護教員含む）の大学院進学を支援する制度を設けていますか。（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目	回答数	回答率
費用面で支援している	14	5.4%
勤務スケジュールを配慮している	37	14.2%
休職制度を設けている	18	6.9%
制度はないが、個別に対応している	36	13.8%
特になし	178	68.5%
その他	6	2.3%
無回答	5	1.9%
回答者数	260	100.0%

問6 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
とても必要である	45	17.3%
ある程度必要である	186	71.5%
あまり必要でない	21	8.1%

必要でない	5	1.9%
無回答	3	1.2%
計	260	100.0%

問7 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
とても必要である	48	18.5%
ある程度必要である	177	68.1%
あまり必要でない	26	10.0%
必要でない	5	1.9%
無回答	4	1.5%
計	260	100.0%

問8 貴機関・貴施設において、今後、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）が養成する人材（修了生）を採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
採用したい	26	10.0%
採用を検討したい	77	29.6%
採用しない	26	10.0%
どちらともいえない	126	48.5%
無回答	5	1.9%
計	260	100.0%

問9 博士前期課程修了（修士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1人	40	38.8%
2人	8	7.8%
3人以上	0	0.0%
人数は未確定	52	50.5%
無回答	3	2.9%
計	103	100.0%

問 10 博士後期課程修了（博士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1人	36	35.0%
2人	5	4.9%
3人以上	0	0.0%
人数は未確定	58	56.3%
無回答	4	3.9%
計	103	100.0%

問 11 貴機関・貴施設に勤務する看護職が、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）に進学を希望した場合、進学をすすめますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
積極的にすすめる	6	2.3%
すすめる	84	32.3%
どちらでもない	104	40.0%
すすめない	7	2.7%
わからない	42	16.2%
無回答	17	6.5%
計	260	100.0%

問 12 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）について、期待する点やご要望がありましたらご自由にお書きください。

※下記の49件の回答を得た。原文ママ。参考として、施設の種類（問2の回答）を右に付記した。

	内容	種別（問2）
1	人材の育成期待しております。	病院
2	当院は大学卒業生が1名だけである。 今後もし希望すれば支援したい。 知識は必要なので、臨床に活かせる又はリーダーシップがとれていく人材育成を希望します。	病院
3	大学院は資格ではなく、何を行ってきたかが大きいと考えます。 大切なのは、学ぶ姿勢と内容です。講師の質も大きく関わってくると考えております。 期待しております。	病院

4	<p>専門や認定 NS と違う活用が具体的にイメージできないが、看護のステータスはあがると思う。</p> <p>期待点は、臨床現場の研究の促進及び研究的視点をもった実践者モデルとしての活動です。</p>	病院
5	<p>今年は未知の感染症で医療、看護、介護において現場の混乱は言葉では表せません。</p> <p>貴校のカリキュラムは今後の看護の発展において重要であると思います。</p> <p>しかし、今般看護の視点からの COVID-19 についての解説の場面では見受けられなかったので感染症対策についての看護の専門分野も今後さらに発展させていく必要があるのではないかと感じました。</p> <p>医師に頼らない看護の面からの専門的な感染対策を世間に周知させられる人材の育成を切に希望します。</p>	病院
6	<p>研究内容の発表を期待しています。</p>	病院
7	<p>研究のみではなく、資格が取得できる大学院であってほしい。</p>	病院
8	<p>貴大学でないと学べない、アピールする学科があるとよい。</p>	病院
9	<p>基本的な専門知識は大切です。</p> <p>これからは、人としてしっかり死生観を持った看護職をリーダーとして育成することの大切さを感じています。専門性のみにかたよらないで。コミュニケーションスキルは重要で、全てにおいて、基本となる力と考えます。</p> <p>人としての基本をおさえることが重要と考えています。</p>	病院
10	<p>管理の視点を持つことは重要ですので、大学院教育に期待します。</p> <p>また、進学については個人の希望であり、現在、がん看護、集中領域など病院業務に必要な修士にはサポート体制を行っています。</p>	病院
11	<p>看護師として働きながら学べる時間など配慮があると希望者も多いと思います。</p>	病院
12	<p>看護協会が取り組んでいる看護の基礎教育 4 年制化（専門学校→大学への移行も含め）とどのように連携していくのか、又、認定看護管理者、教育との相関性など課題の整理は必要（リーダーシップを発揮できる人材養成について）さらに、認定看護師、専門看護師、特定行為研修了や診療看護師教育など様々な教育課程の整理も必要。</p> <p>病院の実践者達は混乱している。</p> <p>基礎教育においては、大学院卒、博士取得者が教育する必要があると思う。</p>	病院

13	<p>看護の苦しみ、喜び、辛さ、困難さを表面的にとらえている程度の経験ではなく、真の経験者としての人間に、学問研究が備わるような教育を期待します。</p> <p>これまで、大学院まで行った方が数名働きましたが、有能な方もおりましたが、スタッフと関係が築けなかったり、患者さんとうまくいかなかったりという方もおりました。理想への言葉は立派ですが、中身ができない人がいます。</p>	病院
14	<p>どのような業務ができるか。</p> <p>施設にどんな効果があるか。</p>	病院
15	<p>DNP コースの設置を希望します。</p> <p>アカデミックスキルだけではなく、臨床実践能力の開発が必要なステージになると思います。</p> <p>精神看護学も設置して下さい！</p>	病院
16	<ul style="list-style-type: none"> ・昼夜間の時間を具体的に公開し、働きながら進学するイメージを持ちやすくしてほしい。 ・奨学金制度 	病院
17	<ul style="list-style-type: none"> ・修士、博士課程の設置、増加については、看護学発展のためにとっても重要と考えます。 ・が、一方で、指導教員の提供（論文指導）が必要と感じます。 	病院
18	<p>論理的な頭を持つ看護師を養成して頂きたい。</p>	介護保険施設
19	<p>当施設は特別養護老人施設ですが、人生の完成期の利用者にとって、どこまで医療的援護が必要なのか判断できる看護職を養成していただきたい。</p>	介護保険施設
20	<p>大変期待しています。が、活躍の場は医療現場ではないかと考えます。たくさんの知識は必要ですが、福祉施設は生活の場ですので、生活の支援に必要な優しさ、気遣いが優先されると思います。</p>	介護保険施設
21	<p>大学院を専攻する本人の資質により、採用の検討も考えられると思います。</p>	介護保険施設
22	<p>専門性は働きながら深められる、学びの場がほしいと思う人が多いと思います。</p> <p>e ラーニングなど、誰でも学べる、知識を得られる、そんな大学（看護）がこれからは必要かと思えます。</p>	介護保険施設
23	<p>進学は積極的にすすめたいものの、現場は常に人手不足に悩まされている。</p>	介護保険施設
24	<p>今後の医療、介護の為、ぜひ頑張って下さい。</p>	介護保険施設

25	高い知識を持った看護職が、現場でスムーズに適応していける人間力も備えられる仕組みを期待します。	介護保険施設
26	考え方などいろいろな面で物事を哲学的に考えられる人がいれば結果も違ってくることもあると思う。	介護保険施設
27	現場で実践できる看護職、幅広い柔軟な思考力を備え、その人にあった教育プロセスを提供し、人材育成のできる方をひとりでも多く育てて下さることを望みます。	介護保険施設
28	技術面ではなく、組織の中の一員として他職種と連携できる人材を育成して下さい。	介護保険施設
29	看護実践と理論が一致するような、教育と内容をプレゼンテーションでできるような人格の人材を育てていただけるとありがたいです。	介護保険施設
30	看護学の社会的確立の上ではかなり重要度は高いので重要性を感じる。ただ現在の社会的構造の中では実践する看護師がまだまだ充足されていない現状かと思います。	介護保険施設
31	介護保険施設の看護師は高齢化が著しく、若くて向学心がありリーダーシップのある人材が必要です。 病院内だけでなく、地域や今後の日本の社会など、幅広い視野を持った看護師が必要になってくると思います。	介護保険施設
32	介護保険の施設にもアンケートがありますが、施設系に博士課程を学んだ人材が就職されるとお考えでしょうか？ 仮に就職されたとして、その方のフォローはどのように期待があるのでしょうか？ 認定看護師の就業もほとんどない状態です。 施設系のレベルの底上げには理論実践していく人達が増えることも大事だと思いますが、育つ土俵がないのも現実です。	介護保険施設
33	介護保険の現場でも活躍できる人材の育成に期待したいです。	介護保険施設
34	介護施設で必要としている看護師像としては、院までは求めておらず、そのような勉強をされた方であれば、もっと活躍できる場がほかにあるのではないかと思います。	介護保険施設
35	ハイレベルな看護を研究し、普及、指導する人材は必要と感じます。 ただし、介護保険施設としては、正看、准看の職員で十分と考えております。	介護保険施設
36	これからを担う看護職として、社会的立場を確保できる様な人材育成を希望します。	介護保険施設

37	大学院で何を学ぶかわからないのでアンケートに答えを書くのにあいまいな回答になっています。学びは常に大切と思います。看護のマネジメントのできる人材がもとめられると思います。すいません、紙が入っていました。	訪問看護ステーション
38	人材不足のため、仕事をしながら進学できるのであればスタッフにすすめたいと考えます。 訪問看護は病院経験がないと勤める事は難しく新卒では気が引けてしまいます。	訪問看護ステーション
39	指導をすること、リーダーシップを発揮することを、利用者様、他職種、同僚を自分に従わせるとはき違える看護師が、特に高学歴の方に多い傾向がある。訪問看護においては、利用者様、ご家族、他事業所からのクレームが多く、ステーション内でもスタッフ同士コミュニケーションをとれていない様子である。自分を省みない（自分は正しい、相手が間違っている）ため結局、戦力にならないうえに、職場の空気を乱す。教育の場において、接遇、マナー、相手の立場に身を置き考えることの大切さをしっかり身につけてきていただきたい。いくら学んでも、それが利用者様、患者様の役に立つ形でフィードバックできなければ、価値は低いと思う。耳の痛い話で恐縮ですが、教え導く諸先生方へ切にお願いしたいです。	訪問看護ステーション
40	在宅分野での実践経験もあり、リーダーシップのとれる方の育成は期待しています。	訪問看護ステーション
41	個人的に興味のある内容ですが、フルタイムで勤務しながらの修学は難しく、今後オンラインでの学習や郵送での課題提出など、自分の時間を使って学ぶことが大半となるようなカリキュラムができるといいなと思いました。	訪問看護ステーション
42	現場では学歴よりも臨床経験豊富な方がほしいです	訪問看護ステーション
43	研究的視点で、訪問看護全般をリーダー的に関わってくれる人材を育成していただきたいです。	訪問看護ステーション
44	給与が高くなるので（基本給）少人数なので積極的には採用できないが、相談や勉強会など期待するので、親病院にはいてほしいです。	訪問看護ステーション
45	看護の中で、貴学のような役割を担う者も必要だと思いますが、現実、今のところ目の前の利用者にご対応するか、ということが課題です。	訪問看護ステーション
46	臨床家としての実践力のある、修士および博士を期待します。	大学

47	<p>実践経験のない人が考えていくのなら、机上空論に成らなければいいのですが・・・</p> <p>採血や点滴をした事がない人達が実践者や管理者になられても・・・と思います。</p>	その他
48	<p>机上の看護でなく実践的な看護に生かせる学問に期待</p>	その他
49	<p>看護大学が急増し、院も増えている中、看護学における科学的知識の積み上げ、社会的立場の確立などを考え、必要なことであると考えます。</p> <p>また、スタッフの学びや向上心に対しては、積極的に応援していくつもりです。ただ、知識の学びと現場とのギャップも多々見受けられるところでもあります。現場とかけ離れたところでの学びや研究ではなく、現場に特化した内容を是非充実していただけるように願います。（失礼なことを申していただきます。）</p>	その他

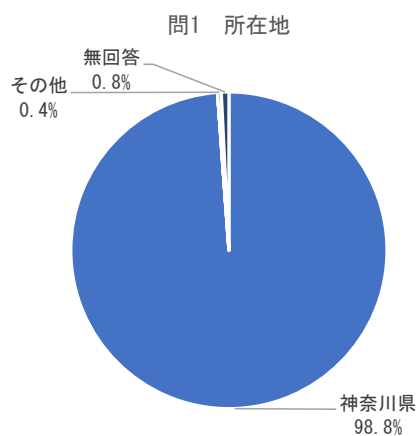
2-3 集計結果のポイント

※構成比(%)はいずれも、少数第2位を四捨五入した。したがって、合計は必ずしも100.0%と一致しない。

◆ 回答者の99.8%が「神奈川県」に所在

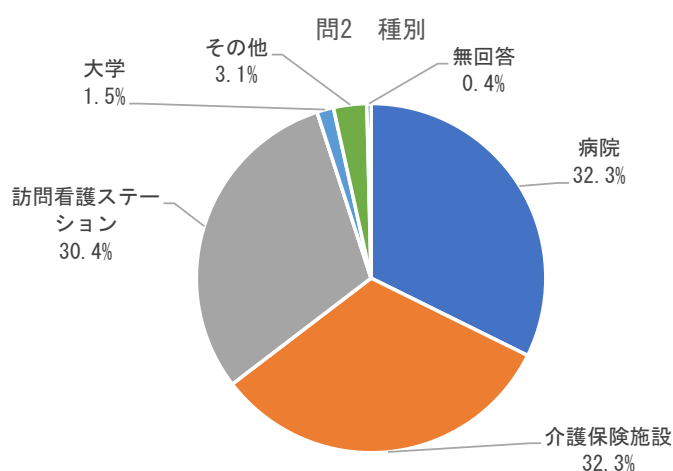
神奈川県の病院312件、介護保険施設576件、訪問看護ステーション438件、保健所等10件、および南関東地方の看護系大学・大学院22件の計1,358件にアンケートを依頼したところ260件から回答を得た。

問1で所在地を質問したところ、99.8%が「神奈川県」と回答した。



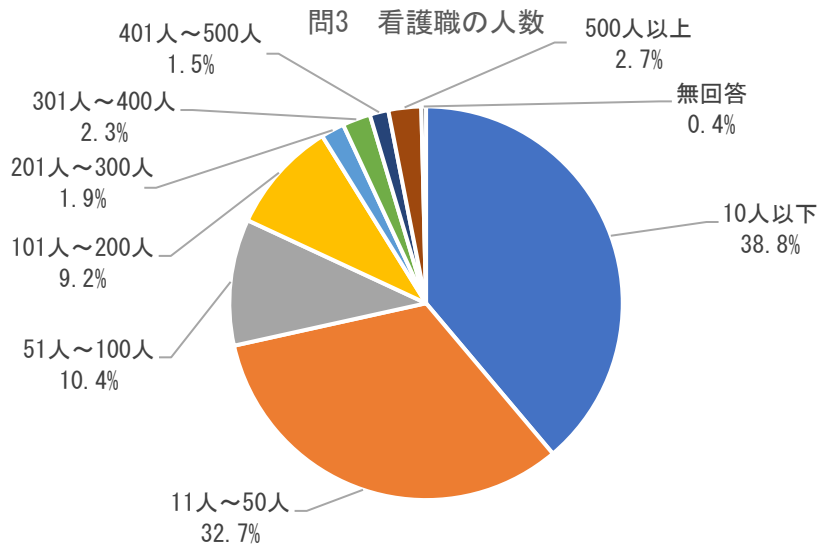
◆ 病院だけでなく様々な種類の施設から回答を得た

問2で機関・施設の種別を質問したところ、1番多かったのが「病院」と「介護保険施設」でともに84件(32.3%)、3番目が訪問看護ステーションで79件(30.4%)だった。



◆ 大規模施設だけでなく、様々な規模の施設から回答を得た

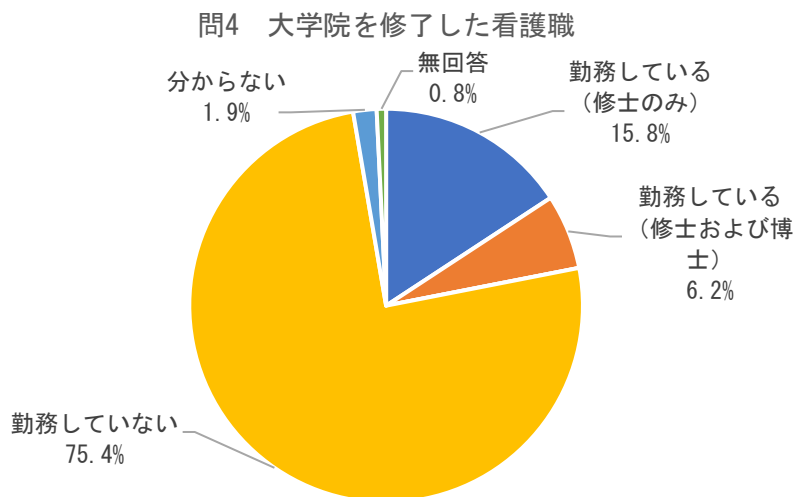
問3で現在勤務している看護職の人数を質問したところ、1番多かったのが「10人以下」で101件（38.8%）、2番目が「11～50人」で85件（32.7%）、3番目が「51人～100人」で27件（10.4%）であり、様々な規模の機関・施設から回答を得た。



◆ 21.9%の機関・施設に大学院を修了した看護職が勤務

問4で大学院を修了した看護職が勤務しているか質問したところ、1番多かったのが「勤務していない」で196件（75.4%）、2番目が「勤務している（修士のみ）」で41件（15.8%）、3番目が「勤務している（修士および博士）」で16件（6.2%）だった。

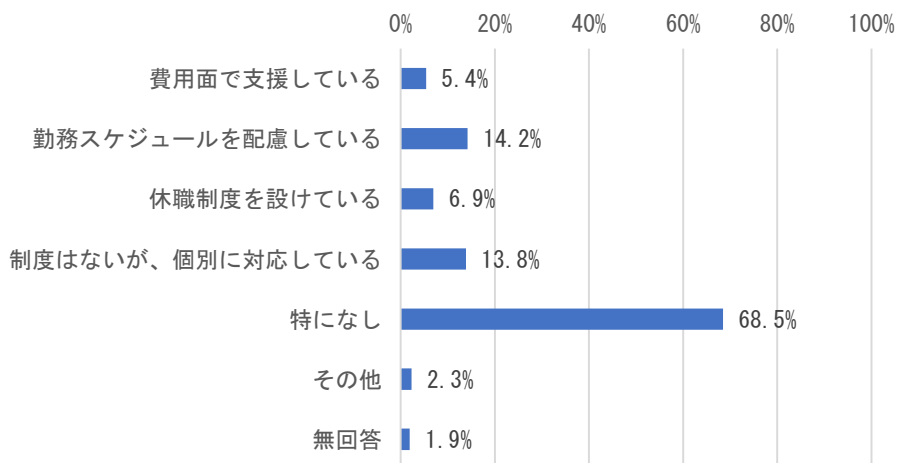
合計すると57件（21.9%）の機関・施設に大学院を修了した看護職が勤務している。



◆ 68.5%の機関・施設には大学院進学を支援する制度が無い

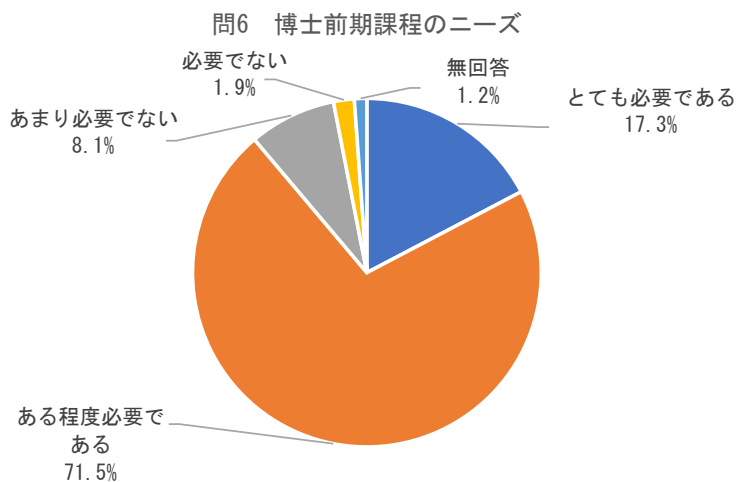
問5で大学院進学を支援する制度について質問したところ、1番多かったのが「特になし」で178件（68.5%）、2番目が「勤務スケジュールを配慮している」で37件（14.2%）、3番目が「制度はないが、個別に対応している」で36件（13.8%）であった。

問5 大学院進学を支援する制度



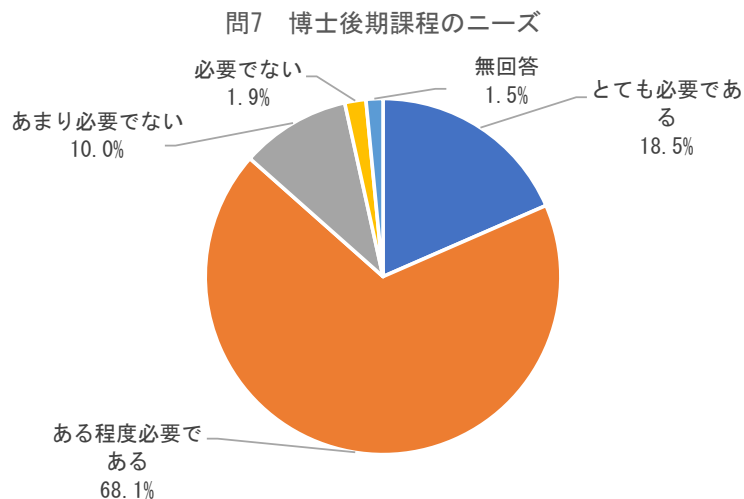
◆ 88.8%の機関・施設が、博士前期課程が必要であると回答

問6で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士前期課程の必要性を質問したところ、1番多かったのが「ある程度必要である」で186件（71.5%）、2番目が「とても必要である」で45件（17.3%）、3番目が「あまり必要ではない」で21件（8.1%）だった。



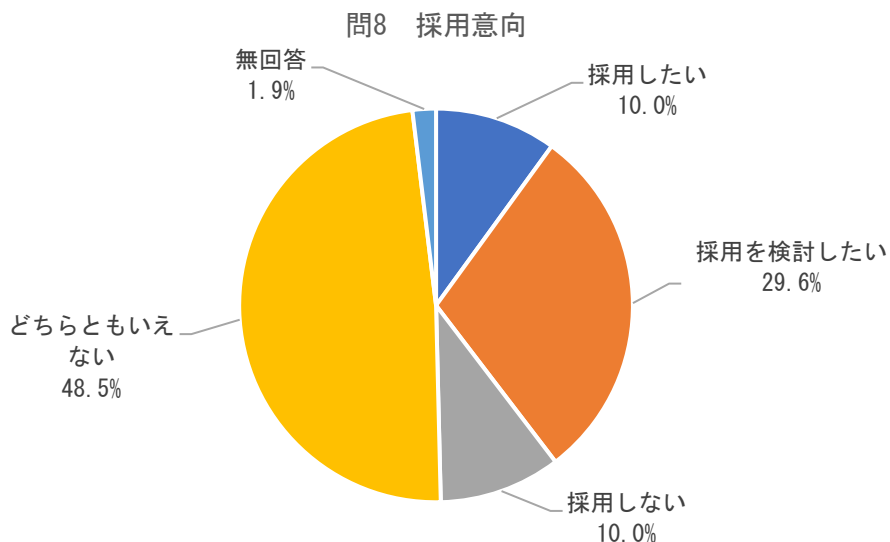
◆ 86.6%の機関・施設が、博士後期課程が必要であると回答

問7で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）博士後期課程の必要性を質問したところ、1番多かったのが「ある程度必要である」で177件（68.1%）、2番目が「とても必要である」で48件（18.5%）、3番目が「あまり必要ではない」で26件（10.0%）だった。



◆ 103件の機関・施設が採用意欲を示す

問8で本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の修了生を採用したいか質問したところ、「採用したい」が26件（10.0%）、「採用を検討したい」が77件（29.6%）だった。したがって、合わせて103件（39.6%）の機関・施設が採用意欲を示した。

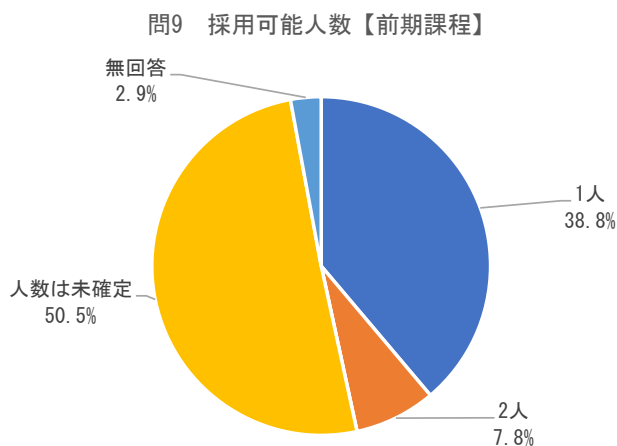


◆ 博士前期課程の採用可能人数は、合計 108 人

問 8 に「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した機関・施設に、問 9 で博士前期課程修了者の採用可能人数を質問したところ、1 番多かったのが「人数は未確定」で 52 件、2 番目が「1 人」で 40 件、3 番目が「2 人」で 8 件だった。

博士前期課程修了者の採用可能人数を合計すると 108 人となった。

採用可能人数の計算方法は、下表のように「採用可能人数」と「件数」を掛け合わせたものをそれぞれ加えた。



【博士前期課程】

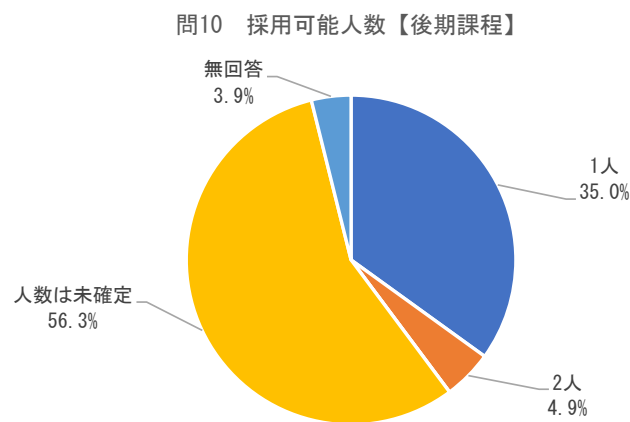
採用可能人数	件数	合計人数
1 人	40	1 人 × 40 件 = 40 人
2 人	8	2 人 × 8 件 = 16 人
3 人	0	3 人 × 0 件 = 0 人
人数は未確定	52	1 人 × 52 件 = 52 人
無回答	3	-
計	103	108 人

◆ 博士後期課程の採用可能人数は、合計 104 人

問 8 で「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した施設に、問 10 で博士委後期課程修了者の採用可能人数を質問したところ、1 番多かったのが「人数は未確定」で 58 件、2 番目が「1 人」で 36 件、3 番目が「2 人」で 5 件だった。

博士後期課程修了者の採用可能人数を合計すると 104 人となった。

採用可能人数の計算方法は、下表のように「採用可能人数」と「件数」を掛け合わせたものをそれぞれ加えた。

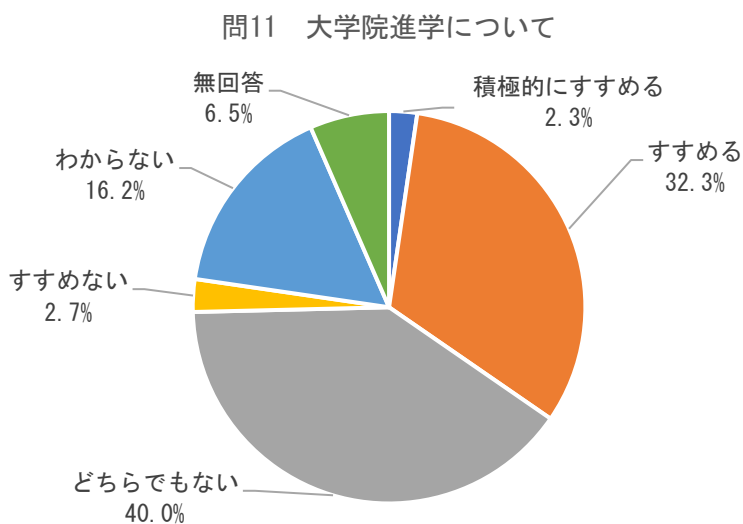


【博士後期課程】

採用可能人数	件数	合計人数
1 人	36	1 人×36 件=36 人
2 人	5	2 人×5 件=10 人
3 人	0	3 人×0 件=0 人
人数は未確定	58	1 人×58 件=58 人
無回答	4	-
計	103	104 人

◆ 34.6%の機関・施設が大学院進学を推奨

問 11 で、勤務する看護職が本学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）への進学を希望した場合、すすめるかどうかを質問したところ、1 番多かったのが「どちらでもない」で 104 人（40.0%）、2 番目が「すすめる」で 84 件（32.3%）、3 番目が「わからない」で 42 件（16.2%）だった。」



まとめ

調査結果からみた学生確保の見通しおよび人材需要の見通し

◆ 調査①の結果、博士前期課程は27人、博士後期課程は6人が強い入学意欲を示した

2022（令和4）年4月設置計画中の湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の学生確保の見通しを測るため、本学が所在する神奈川県の実業・福祉・保健施設に勤務する看護職、または南関東の看護系大学・大学院に勤務する看護教員にアンケートを依頼したところ、計654人から回答を得た。

博士前期課程（入学定員6人）について、問8で本学への受験意欲を質問したところ、66人が「受験したい」と回答した。さらに、「受験したい」と回答した66人に対して、問9で本学への入学意欲を質問したところ、27人が「入学したい」と回答した。

博士後期課程（入学定員3人）について、問7で学歴を「大学院修士課程修了以上」と回答した35人に対して、問12で本学への受験意欲を質問したところ、13人が「受験したい」と回答した。さらに、「受験したい」と回答した13人に対して、問13で本学への入学意欲を質問したところ、6人が「入学したい」と回答した。

◆ 調査②の結果、採用可能人数は博士前期課程が108人、博士後期課程が104人

本学の修了者の社会的な人材需要を測るため、本学が所在する神奈川県の実業・福祉・保健施設および南関東の看護系大学・大学院にアンケート調査を依頼したところ、260件の回答を得た。

問8で、湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の修了者を採用したいか質問したところ、「採用したい」が26件、「採用を検討したい」が77件あり、合わせて103件の機関・施設が採用意欲を示した。

さらに、「採用したい」または「採用を検討したい」と回答した103機関・施設に対して、採用可能人数を質問したところ、博士前期課程（入学定員6人）が合計108人、博士後期課程（入学定員3人）が合計104人となった。

※採用可能人数の算出方法は、p36～37を参照。

◆ 調査①、調査②ともに計画中の入学定員を大幅に上回った

博士前期課程（入学定員6人、調査①27人、調査②108人）、博士後期課程（入学定員3人、調査①6人、調査②104人）のいずれも計画中の入学定員を大幅に上回る結果となった。

したがって、2022（令和4）年4月設置計画中の湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科看護学専攻（仮称）の学生確保の見通しおよび卒業生の社会的な人材需要については問題がないと判断できる。

添付資料（実施したアンケート用紙）

資料1 入学意向アンケート調査 アンケート用紙（3 ページ）

資料2 採用意向アンケート調査 アンケート用紙（2 ページ）

資料3 リーフレット（2 ページ）

湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程・博士後期課程（仮称・設置構想中）



入学意向アンケート調査

対象：看護職者、看護教員、看護系学生の皆様

湘南鎌倉医療大学（神奈川県鎌倉市山崎）は、2022年4月に大学院看護学研究科看護学専攻【博士前期課程(入学定員6名)・博士後期課程(入学定員3名)】（全て仮称）の設置を構想しています。

本アンケート調査にて、看護職者、看護教員、看護系大学院生・大学生の皆様から率直なご意見を伺い、設置構想の参考にさせていただきたいと存じます。アンケートにご記入頂いた情報は、設置構想に係る統計資料としてのみ活用し、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。お忙しいところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

※本アンケート調査は湘南鎌倉医療大学から委託された株式会社高等教育総合研究所が実施しています。

正しい回答 誤った回答



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 女性 男性

問2 あなたが現在、お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 神奈川県 横浜地域 神奈川県 川崎地域 神奈川県 横須賀三浦地域
 神奈川県 県央地域 神奈川県 湘南地域 神奈川県 県西地域
 東京都 千葉県 埼玉県
 静岡県 その他

問3 あなたの年齢をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 20歳代 30歳代 40歳代 50歳代 60歳以上

問4 あなたの現在の所属（勤務先・通学先など）についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 病院 介護保険施設 訪問看護ステーション
 行政（保健所・保健センター） 看護教員 看護系大学院生
 看護系大学生（学部生） その他

問5 あなたが保有している免許・資格をお答えください。現在、学生の方は取得予定のものをお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 看護師 保健師 助産師
 専門看護師 認定看護師 診療看護師
 その他

問6 看護職（看護教員を含む）としての累計勤務年数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 2年未満 2～4年 5～9年 10～14年 15～19年 20年以上 経験なし

次のページにも質問が続きます。





問 7 あなたの最終学歴をお答えください。現在、学生の方は予定のものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 専門学校卒
- 短期大学卒
- 大学卒
- 大学院修士課程修了以上 ⇒ 問12以降にお答えください
- その他 ⇒ 問16以降にお答えください

} 問8以降にお答えください

問 7 で「専門学校卒」「短期大学卒」「大学卒」と回答された方のみお答えください。

問 8 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒問9以降にお答えください
- 受験しない ⇒問16以降にお答えください

【問9～11の質問は、問8で「受験したい」と回答された方のみお答えください。】

問 9 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 入学したい
- 状況によっては入学を検討する

問 10 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）であなたが希望する領域をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- リプロダクティブヘルス看護学
- 小児看護学
- 成人看護学
- 老年看護学
- 在宅看護学
- 公衆衛生看護学

問 11 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）に「入学したい」または「状況によっては入学を検討する」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 高度な専門的知識と技術を身に着けたい
- 大学院で研究したい分野がある
- 修士の学位を取得したい
- 将来、臨床の現場で指導的役割を担いたい
- 将来、教育者・研究者になりたい
- その他

問 7 で「大学院修士課程修了以上」と回答された方のみお答えください。

問 12 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒ 問13以降にお答えください
- 受験しない ⇒ 問16以降にお答えください

次ページにも質問が続きます。





【問13～15は、問12で「受験したい」と回答された方のみお答えください。】

問13 あなたは湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）を受験し合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 入学したい 状況によっては入学を検討する

問14 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）で、あなたが希望する領域をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- リプロダクティブヘルス看護学 小児看護学 成人看護学
 老年看護学 在宅看護学 公衆衛生看護学

問15 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）に「入学したい」または「状況によっては入学を検討する」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 高度な専門的知識と技術を身につけたい 大学院で研究したい分野がある
 博士の学位を取得したい 将来、臨床の現場で指導的役割を担いたい
 将来、教育者・研究者になりたい その他

問8、問12で「受験しない」と回答された方のみお答えください。

問16 あなたが湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）または博士後期課程（仮称）を「受験しない」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- もっと実務経験を積んでから大学院に進学したい
 大学院に進学する必要性を感じない
 経済的理由
 勤務との両立が難しい
 家事・育児等との両立が難しい
 通学時間がかかりすぎる
 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）に魅力を感じない
 その他

質問は以上で終了となります。ご協力ありがとうございました。





湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程・博士後期課程（仮称・設置構想中）



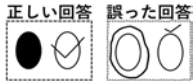
採用意向アンケート調査

対象：看護職・看護教員の採用ご担当者様

湘南鎌倉医療大学（神奈川県鎌倉市山崎）は、2022年4月に大学院看護学研究科看護学専攻【博士前期課程(入学定員6名)・博士後期課程(入学定員3名)】（全て仮称）の設置を構想しています。

本アンケート調査にて、将来修士生の採用をご検討頂く皆様から率直なご意見を伺い、設置構想の参考にさせていただきたいと存じます。アンケートにご記入頂いた情報は、設置構想に係る統計資料としてのみ活用し、個人を特定することや他の目的に使用することは一切ございません。お忙しいところ恐れ入りますが、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

※本アンケート調査は湘南鎌倉医療大学から委託された株式会社高等教育総合研究所が実施しています。



問1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるものを1つにマーク）

- 神奈川県
 東京都
 千葉県
 埼玉県
 静岡県
 その他

問2 貴機関・貴施設の種別をお答えください。（あてはまるものを1つにマーク）

- 病院
 介護保険施設
 訪問看護ステーション
 地方公共団体
 大学
 その他

問3 貴機関・貴施設に勤務されている看護職（看護教員含む）の人数をお答えください。（あてはまるものを1つにマーク）

- 10人以下
 11人～50人
 51人～100人
 101人～200人
 201人～300人
 301人～400人
 401人～500人
 500人以上

問4 貴機関・貴施設に大学院を修了した看護職（看護教員含む）は勤務していますか。（あてはまるものを1つにマーク）

- 勤務している（修士のみ）
 勤務している（修士および博士）
 勤務している（博士のみ）
 勤務していない
 分からない

問5 貴機関・貴施設では、勤務している看護職（看護教員含む）の大学院進学を支援する制度を設けていますか。（あてはまるもの全てにマーク）

- 費用面で支援している
 勤務スケジュールを配慮している
 休職制度を設けている
 制度はないが、個別に対応している
 特になし
 その他

問6 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるものを1つにマーク）

【博士前期課程】

- とても必要である
 ある程度必要である
 あまり必要でない
 必要でない

次ページにも質問があります。





問 7 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

【博士後期課程】

- とても必要である ある程度必要である あまり必要でない 必要でない

問 8 貴機関・貴施設において、今後、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）が養成する人材（修了生）を採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | |
|---------------------------------|---|---------------|
| <input type="radio"/> 採用したい | } | 問9以降にお答えください |
| <input type="radio"/> 採用を検討したい | | |
| <input type="radio"/> 採用しない | } | 問11以降にお答えください |
| <input type="radio"/> どちらともいえない | | |

問9～10は、問8で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した方のみお答えください。

問 9 博士前期課程修了（修士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1人 2人 3人以上 人数は未確定

問 10 博士後期課程修了（博士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 1人 2人 3人以上 人数は未確定

問 11 貴機関・貴施設に勤務する看護職が、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）に進学を希望した場合、進学をすすめますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 積極的にすすめる すすめる どちらでもない すすめない わからない

問 12 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）について、期待する点やご要望がありましたらご自由にお書きください。



湘南鎌倉医療大学 大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士前期課程（仮称、設置構想中）

■概要

開設時期：2022年4月（予定）
 入学定員：6名（男女共学）
 取得学位：修士（看護学）
 標準修業年限：2年
 開設場所：神奈川県鎌倉市山崎
 （湘南鎌倉医療大学キャンパス）

■看護学研究科（仮称）の目的

哲学的思考をもとに高い倫理観・人間性を培い、研究の視点を持った実践者として実践現場や社会における健康課題に対応できる能力を修得する。また卓越した研究者として指導的立場に立ってリーダーシップを発揮し看護の質の改善・向上のために看護学の研究を発展的に推進する能力を修得する。さらに複雑に変貌する社会システムの構築について柔軟な判断力・思考力をもって寄与できる能力を修得する。

■養成する人材像

研究的視点を持った実践者としての能力をさらに進化させ看護専門職者として地域や多職種連携において保健医療の発展に貢献できる人材。

■想定される修了後の進路

医療施設の実践者・管理者、看護系大学の教員、保健所・行政機関の専門職など

■社会人に対する配慮

- ・社会人が履修しやすい昼夜間及び土曜に開講
- ・長期履修制度（3～4年間の計画的な履修も可能）

■カリキュラム

博士前期課程には、6つの専門領域（リプロダクティブヘルス看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学）があります。

大学院での教育研究の基盤となる共通科目（右図参照）を学修したのちに、本人が専攻する専門領域の専門科目（特論、演習、特別研究）を体系的に学修します。

研究成果を修士論文としてまとめ、修士論文の審査および最終試験に合格すると修士（看護学）の学位が授与されます。

共通科目 看護倫理 看護教育論 看護管理 看護学の実践と研究Ⅰ 看護学研究方法論 地域生活看護論Ⅰ など	生涯発達看護学分野	リプロダクティブヘルス看護学	特別研究	修士論文
		小児看護学		
		成人看護学		
		老年看護学		
	学分野 広域看護	在宅看護学		
		公衆衛生看護学		

博士前期課程の学び

■出願資格

次の各項のいずれかに該当する者

- ①学士の学位を授与された者（又は見込みの者）
- ②外国において、学校教育法による16年課程を修了した者（又は見込みの者）
- ③文部科学大臣が指定した者
- ④本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

※出願資格については個別にご相談ください。

■アクセス

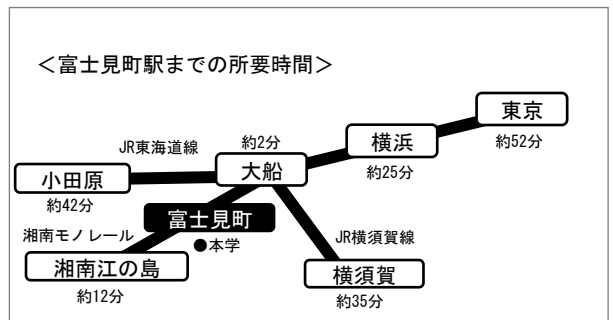
●湘南モノレール

「富士見町駅」下車 徒歩6分

●JR東海道線 ●JR横須賀線

●JR京浜東北・根岸線

「大船駅」下車 徒歩20分



■学費（他大学を含む）

大学院	研究科 専攻	課程	学費(円)			
			入学金	授業料	その他	初年度納入金
湘南鎌倉医療大学大学院	看護学研究科看護学専攻(仮称)	博士前期	300,000	700,000	100,000	1,100,000
北里大学大学院	看護学研究科看護学専攻(論文コース)	博士前期	400,000	650,000	300,000	1,350,000
北里大学大学院	看護学研究科看護学専攻(CNSコース)	博士前期	400,000	850,000	300,000	1,550,000
東海大学大学院	健康科学研究科	博士前期	300,000	735,000	411,000	1,446,000
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	博士前期	0	1,630,000	70,600	1,700,600
国際医療福祉大学大学院	医療福祉学研究科看護学専攻	博士前期	300,000	800,000	200,000	1,300,000
国際医療福祉大学大学院	医療福祉学研究科看護学専攻(CNSコース)	博士前期	300,000	800,000	300,000	1,400,000
昭和大学大学院	保健医療学研究科	博士前期	100,000	400,000	200,000	700,000
関東学院大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士前期	150,000	780,000	301,430	1,231,430
横浜創英大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士前期	100,000	720,000	140,000	960,000
湘南医療大学大学院	保健医療学研究科保健医療学専攻	博士前期	300,000	980,000	0	1,280,000

内容は構想中のものであり、変更となる可能性があります。

湘南鎌倉医療大学 大学院 看護学研究科 看護学専攻 博士後期課程（仮称、設置構想中）

■概要

開設時期：2022年4月（予定）
 入学定員：3名（男女共学）
 取得学位：博士（看護学）
 標準修業年限：3年
 開設場所：神奈川県鎌倉市山崎
 （湘南鎌倉医療大学キャンパス）

■看護学研究科（仮称）の目的

哲学的思考をもとに高い倫理観・人間性を培い、研究の視点を持った実践者として実践現場や社会における健康課題に対応できる能力を修得する。また卓越した研究者として指導的立場に立ってリーダーシップを発揮し看護の質の改善・向上のために看護学の研究を発展的に推進する能力を修得する。さらに複雑に変貌する社会システムの構築について柔軟な判断力・思考力をもって寄与できる能力を修得する。

■養成する人材像

幅広い視野と深い学識をもって自立して研究する能力を有し、看護の質の改善・向上のためにリーダーシップを発揮できる人材。

■想定される修了後の進路

医療施設の実践者・管理者、看護系大学の教員、保健所・行政機関の専門職など

■社会人に対する配慮

・社会人が履修しやすい昼夜間及び土曜に開講

■カリキュラム

博士後期課程には、6つの専門領域（リプロダクティブヘルス看護学、小児看護学、成人看護学、老年看護学、在宅看護学、公衆衛生看護学）があります。

共通科目（右図参照）を学修したのちに、本人が専攻する専門領域の専門科目（特論、演習、特別研究）の学修及び指導教官による研究指導を通して、研究能力を深めます。

研究成果を博士論文としてまとめ、博士論文の審査および最終試験に合格すると博士（看護学）の学位が授与されます。

共通科目 看護学研究法 看護学の実践と研究Ⅱ 地域生活看護論Ⅱ 英語論文演習 など	生涯発達看護学分野 学分野	リプロダクティブヘルス看護学	特別研究	博士論文
		小児看護学		
		成人看護学		
		老年看護学		
		在宅看護学		
		公衆衛生看護学		

博士後期課程の学び

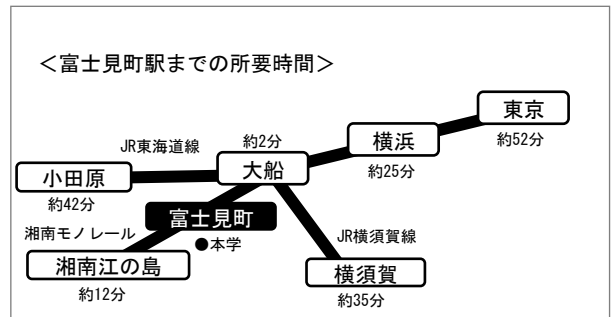
■出願資格

次の各項のいずれかに該当する者

- ①修士の学位又は専門職学位を授与された者（又は見込みの者）
- ②外国において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者（又は見込みの者）
- ③文部科学大臣が指定した者
- ④本学大学院において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
 ※出願資格については個別にご相談ください。

■アクセス

- 湘南モノレール
 「富士見町駅」下車 徒歩6分
- JR東海道線 ●JR横須賀線
 「大船駅」下車 徒歩20分



■学費（他大学を含む）

大学院	研究科 専攻	課程	学費(円)			
			入学金	授業料	その他	初年度納入金
湘南鎌倉医療大学大学院	看護学研究科看護学専攻(仮称)	博士後期	300,000	700,000	100,000	1,100,000
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント研究科	博士後期	0	660,000	70,600	730,600
国際医療福祉大学大学院	医療福祉学研究科保健医療学専攻	博士後期	300,000	800,000	200,000	1,300,000
昭和大学大学院	保健医療学研究科	博士後期	100,000	400,000	200,000	700,000

【資料5】近隣の私立看護系大学院の学費

【博士前期課程】

大学院	研究科 専攻	課程	学費（円）				備考
			入学金	授業料	その他	初年度納入金	
湘南鎌倉医療大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士前期	¥300,000	¥700,000	¥100,000	¥1,100,000	本大学院
北里大学大学院	看護学研究科看護学専攻(論文コース)	博士前期	¥400,000	¥650,000	¥300,000	¥1,350,000	令和3年度
北里大学大学院	看護学研究科看護学専攻(CNSコース)	博士前期	¥400,000	¥850,000	¥300,000	¥1,550,000	令和3年度
東海大学大学院	健康科学研究科看護学専攻	博士前期	¥300,000	¥735,000	¥411,000	¥1,446,000	令和2年度
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント研究科看護学専攻	博士前期	¥0	¥1,630,000	¥70,600	¥1,700,600	令和2年度
関東学院大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士前期	¥150,000	¥780,000	¥301,430	¥1,231,430	令和3年度
横浜創英大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士前期	¥100,000	¥720,000	¥140,000	¥960,000	令和3年度
昭和大学大学院	保健医療学研究科保健医療学専攻	博士前期	¥100,000	¥400,000	¥200,000	¥700,000	令和元年度。施設費10万円は初年度のみ
湘南医療大学大学院	保健医療学研究科保健医療学専攻	博士前期	¥300,000	¥980,000	¥0	¥1,280,000	令和2年度
平均（博士前期課程）※本学を除く			¥218,750	¥843,125	¥215,379	¥1,277,254	

【博士後期課程】

大学院	研究科 専攻	課程	学費（円）				備考
			入学金	授業料	その他	初年度納入金	
湘南鎌倉医療大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士後期	¥300,000	¥700,000	¥100,000	¥1,100,000	本大学院
北里大学大学院	看護学研究科看護学専攻	博士後期	¥400,000	¥650,000	¥300,000	¥1,350,000	令和3年度
慶應義塾大学大学院	健康マネジメント研究科看護学専攻	博士後期	¥0	¥660,000	¥70,600	¥730,600	令和2年度
昭和大学大学院	保健医療学研究科保健医療学専攻	博士後期	¥100,000	¥400,000	¥200,000	¥700,000	令和元年度。施設費10万円は初年度のみ
平均（博士後期課程）※本学を除く			¥166,667	¥570,000	¥190,200	¥926,867	

6.看護系大学・大学院の卒業生・修了生の病院・診療所への就職割合

表6.卒業生、修了生の就職・進学状況

(人)

	学部卒業生	修士修了生		博士後期課程 修了生	
		修士課程	うち専門 看護師課程		
就職者内訳	病院・診療所	17,171 (87.2%)	908 (58.6%)	128 (84.8%)	29 (14.7%)
	介護・福祉施設関係	23 (0.1%)	21 (1.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	訪問看護ステーション	28 (0.1%)	15 (1.0%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)
	保健所・市町村・検診センター	753 (3.8%)	70 (4.5%)	2 (1.3%)	1 (0.5%)
	企業	92 (0.5%)	33 (2.1%)	0 (0.0%)	2 (1.0%)
	学校(教諭として)	191 (1.0%)	58 (3.7%)	0 (0.0%)	27 (13.7%)
	大学・短大・研究機関等	78 (0.4%)	136 (8.8%)	7 (4.6%)	104 (52.8%)
	専修・各種学校	8 (0.0%)	24 (1.5%)	0 (0.0%)	4 (2.0%)
	その他(行政職を含む)	100 (0.5%)	41 (2.6%)	1 (0.7%)	5 (2.5%)
進学者内訳	国内の大学院(看護系)	309 (1.6%)	82 (5.3%)	1 (0.7%)	0 (0.0%)
	国内の大学院(看護系以外)	76 (0.4%)	6 (0.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	助産師課程(専攻科、別科、専修学校等)	411 (2.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	国内の他学部	32 (0.2%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	海外留学	11 (0.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	94 (0.5%)	5 (0.3%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
その他	314 (1.6%)	150 (9.7%)	11 (7.3%)	25 (12.7%)	
合計	19,691 (100.0%)	1,549 (100.0%)	151 (100.0%)	197 (100.0%)	

看護系学部・学科における学生19,691名の卒業時点での進路は、就職が93.7%、進学が4.7%、いずれにも該当しない者が1.6%であった。就職先は、病院が17,171名(87.2%)と大半を占め、次いで保健所・市町村・検診センターが753名(3.8%)であった。進路先では、助産師課程が411名(2.1%)と最も多く、次いで看護系大学院が309名(1.6%)であった。

修士課程・博士前期課程の修了生1,549名では、全体の58.6%(908名)が病院に、8.8%(136名)が大学・短大・研究機関等に就職していた。修了生における専門看護師課程の割合で見ると、病院への就職が84.8%(128名)、訪問看護ステーションが0.7%(1名)、保健所・市町村・検診センターが1.3%(2名)、大学・短大・研究機関等が4.6%(7名)であった。

博士後期課程の修了生197名では、大学・短大・研究機関等が104名(52.8%)であり、次いで、病院への就職が29名(14.7%)、学校が27名(13.7%)と、大きな変化は見られなかった。

訪問看護ステーションへの就職数は多くないが、病院・診療所付属の訪問看護ステーションの場合、病院・診療所に分類されている可能性がある。

【資料7】採用意向アンケート調査 問2とのクロス集計

問1 貴機関・貴施設の所在地をお答えください。（あてはまるものを1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
神奈川県	84	83	78	0	3	8	1	257
東京都	0	0	0	0	0	0	0	0
千葉県	0	0	0	0	0	0	0	0
埼玉県	0	0	0	0	0	0	0	0
静岡県	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	0	0	1
無回答	0	1	1	0	0	0	0	2
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問3 貴機関・貴施設に勤務されている看護職（看護教員含む）の人数をお答えください。（あてはまるものを1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
10人以下	0	49	47	0	0	4	1	101
11人～50人	16	33	29	0	4	3	0	85
51人～100人	26	0	0	0	0	1	0	27
101人～200人	21	2	1	0	0	0	0	24
201人～300人	5	0	0	0	0	0	0	5
301人～400人	5	0	1	0	0	0	0	6
401人～500人	4	0	0	0	0	0	0	4
500人以上	7	0	0	0	0	0	0	7
無回答	0	0	1	0	0	0	0	1
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問4 貴機関・貴施設に大学院を修了した看護職（看護教員含む）は勤務していますか。（あてはまるものを1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
勤務している（修士のみ）	23	5	11	0	0	2	0	41
勤務している（修士および博士）	9	1	2	0	4	0	0	16
勤務している（博士のみ）	0	0	0	0	0	0	0	0
勤務していない	50	74	65	0	0	6	1	196
分からない	2	2	1	0	0	0	0	5
無回答	0	2	0	0	0	0	0	2
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問5 貴機関・貴施設では、勤務している看護職（看護教員含む）の大学院進学を支援する制度を設けていますか。（あてはまるもの全てにマーク）
 ※複数回答項目のため、回答数は延べ。

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
費用面で支援している	8	2	4	0	0	0	0	14
勤務スケジュールを配慮している	23	5	7	0	2	0	0	37
休職制度を設けている	15	0	3	0	0	0	0	18
制度はないが、個別に対応している	17	6	12	0	1	0	0	36
特になし	42	71	56	0	1	7	1	178
その他	3	1	1	0	0	1	0	6
無回答	0	2	2	0	0	0	0	4
回答者数	84	84	79	0	4	8	1	260

問6 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士前期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
とても必要である	15	13	14	0	2	1	0	45
ある程度必要である	60	64	54	0	2	5	1	186
あまり必要でない	6	5	9	0	0	1	0	21
必要でない	2	1	1	0	0	1	0	5
無回答	1	1	1	0	0	0	0	3
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問7 湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士後期課程（仮称）が養成する人材は、これからの社会にとって必要であると思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
とても必要である	15	14	15	0	3	1	0	48
ある程度必要である	56	62	54	0	1	4	0	177
あまり必要でない	10	6	8	0	0	2	0	26
必要でない	2	1	1	0	0	1	0	5
無回答	1	1	1	0	0	0	1	4
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問8 貴機関・貴施設において、今後、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）が養成する人材（修了生）を採用したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
採用したい	7	10	7	0	2	0	0	26
採用を検討したい	30	16	27	0	2	2	0	77
採用しない	7	14	5	0	0	0	0	26
どちらともいえない	40	42	38	0	0	6	0	126
無回答	0	2	2	0	0	0	1	5
計	84	84	79	0	4	8	1	260

問9 博士前期課程修了（修士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
1人	9	15	15	0	1	0	0	40
2人	5	2	1	0	0	0	0	8
3人以上	0	0	0	0	0	0	0	0
人数は未確定	21	9	17	0	3	2	0	52
無回答	2	0	1	0	0	0	0	3
計	37	26	34	0	4	2	0	103

※問8で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した者のみ。

問10 博士後期課程修了（博士）について、貴機関・貴施設で採用可能な人数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
1人	9	12	15	0	0	0	0	36
2人	3	1	0	0	1	0	0	5
3人以上	0	0	0	0	0	0	0	0
人数は未確定	22	12	19	0	3	2	0	58
無回答	3	1	0	0	0	0	0	4
計	37	26	34	0	4	2	0	103

※問8で「採用したい」「採用を検討したい」と回答した者のみ。

問11 貴機関・貴施設に勤務する看護職が、湘南鎌倉医療大学大学院 看護学研究科看護学専攻（仮称）に進学を希望した場合、進学をすすめますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	問2の選択項目							計
	病院	介護保険施設	訪問看護ステーション	地方公共団体	大学	その他	無回答	
積極的にすすめる	0	2	2	0	1	1	0	6
すすめる	38	16	25	0	2	3	0	84
どちらでもない	31	40	30	0	1	2	0	104
すすめない	2	2	3	0	0	0	0	7
わからない	8	18	14	0	0	2	0	42
無回答	5	6	5	0	0	0	1	17
計	84	84	79	0	4	8	1	260